



あいさつ

国領村長 上原 康作

昨今では、国民の価値観の多様化により自然、歴史、文化などの様々な地域資源の魅力や個性が見直されており、物質的な豊かさから、うるおいのある精神的に豊かな地域へ、時代は確実に成熟し発展された社会に向いつつあります。

豊かな自然に恵まれた本村を、誇りの持てる地域社会を構築するためには、地域自ら考え、自ら実行し自ら新たな挑戦をする地域であるべきものと考えます。

本施設は地域の地域環境の特性を活かした、都市地区の人々との交流を図り、自然体験など交流を通じ地域の活性化を図ることを基本方針とし、奥区が自主的に管理運営する公設民営型の施設であり、多角的な地域活性化につながるものと期待するものであります。

今後とも、本村の重要な自然環境を享有できることが可能な地域として、まさに地球の贈り物と言え自然を大切に、新しい時代に新しい発想で地域の発展を推進していきたいと考えているところであります。

最後に遠隔地域滞在施設整備モデル事業の施設建設にあたりご尽力いただいた関係各位に心からお礼と感謝を申し上げます。

平成13年4月

基本方針

本施設（奥交流館・奥宿泊施設）は、奥区に今年受け継がれてきた共同歴史（ユイマール）を基盤とし、奥区の運営のもと、利用者が歴史、文化、豊かな自然に直接触れ、豊かな暮らし等、奥区の新旧行事等で交流を深めてもらう事を目的とする。

理念・テーマ

現在のあなただけの中、情に都合ではゆとりの無い生活、人と人とのふれあいあいがけがけであり、施設を拠点に豊かな自然環境に触れ、自然の大切さを再認識しながら本来の人間らしい姿を体験してもらう。

交流館

展示室



展示室内には、奥という1つの地域社会すべての生活誌資料が展示され、衣食住から生産・生業にわたるまで大小さまざまな民具が揃っている。決して派手ではないが、奥の人々の自らの社会、歴史・文化への愛着が感じられ、奥の伝統精神である「共同」のところがあつた、と、評価できる。



土産コーナー・レストラン

国領村奥で作られているお茶は、日本一早い春の一番茶が収穫できる地域としても名が高く、レストラン内では特産品の土産コーナーを設けている。



豊かな自然環境へ 奥ヤンバルの里

宿泊棟

沖縄の民家風の宿泊施設で、伝統的な一番座、二番座、板間、それから雨端の形式をとり、一部アウトドア的な空間を取り入れ、民家の生活を体験しながら、自然を満喫し、やすらげる施設で、沖縄の伝統的民家風様式を元に多少リゾート的な要素を盛り込んだデザインコンセプトとしています。



タイプ1



タイプ2



タイプ3

パークゴルフ場

雄大な山々に囲まれた中、奥川を目の前にパークゴルフ場の全9ホールのパークゴルフ場が設けられている。





交流館

敷地面積 2,718.79㎡
建築面積 941.08㎡
建物構造 鉄筋コンクリート
駐車場台数 61台(普通車)
屋外トイレ(男子用、女子用、身障者用)

敷地面積 5,094.81㎡
 建築面積 タイプ1 73.22㎡(3棟)
 タイプ2 75.02㎡(1棟)
 タイプ3 79.19㎡(2棟)
 建物構造 構造コンクリートブロック造
 ※各種デッキテラス付き
 駐車場台数 15台(普通車)
 防蛇フェンス設置 280m
 アクセント道路(幅 5.0m、230m)

パークゴルフ場(ホール数 9ホール、パー30)
総延長 298m

施設名:奥ヤンバルの里
事業面積23.990m²
総事業費621.984千円

ご連絡・お問い合わせ
国領村役場

F905-1495 沖縄県国頭村字辺土名121番地
TEL(0980)41-2101(代)



京 繩 縣 國 頭 村

